

<b>団体名</b>	北広島町	<b>所属</b>	芸北支所	<b>他団体等との連携</b>	NPO法人
<b>連絡先</b>	自治振興係 (050)5812-2110				

<b>取組事例名</b>	「薪活！」への取組	<b>取組期間</b>	平成26年度～
--------------	-----------	-------------	---------

### 取組の概要 ～ 薪を使った豊かな暮らしの推進事業

北広島町芸北地域は、豊かな森林資源を有しているながらもそれらを活かしきれず、里山が荒廃し始めている中で、森林資源の活用を総合的に促進することで、地域が抱えている様々な課題解決を図るため、NPO法人西中国山地自然史研究会が事務局となっている「せどやま再生会議」と連携し、薪を使った豊かな暮らしを推進する「薪活！」に取り組んでいる。

### 取組の背景 ～ 里山の荒廃、せどやま再生事業の取組開始

北広島町芸北地域は、総面積253.63km<sup>2</sup>のうち、約9割の229.33km<sup>2</sup>が山林で、豊富な森林を有しているながらも、輸入等の増加により木材価格が下がったことや、化石燃料の普及に伴い、木材利用が減少したために、人々が山を手入れすることから遠ざかり、里山は荒れはじめている。

NPO法人西中国山地自然史研究会が中心となり、「せどやま再生会議」を立ち上げ、山の木を地域通貨で買い取るせどやま再生事業が始まった。

### 取組のねらい ～ 薪を使った豊かな暮らしの推進

木を地域通貨で買い取ることにより、森林資源の活用を総合的に促進し、地域が抱えている課題である生物多様性の保全・里山の多面的機能の回復、地域経済の活性化・木質バイオマスの利用促進などの解決を図るとともに、薪を使った豊かな暮らしを推進している。

### 取組の具体的内容 ～ せどやま再生事業と連携した「薪活！」への取組

- 1 森林資源の収集の安定化・資源流通制度の確立**  
せどやま再生事業により森林資源の収集・流通システムを構築  
 (1) 林家の方が里山を整備（樹木の伐採）  
 (2) せどやま再生会議が、定期的に「せどやま市場」を開き、伐採した木材の受け入れを行い、計量し、樹種によりきめられた単価により、「せどやま券」と交換する。  
 (3) 「せどやま券」は、芸北地域のみでの商店等で利用できる。  
 (4) 商店で利用された券は、せどやま再生会議が現金に換金する。

- 2 森林資源活用先の創出、拡大**  
地域内にある公共施設の温泉宿泊施設芸北オークガーデンに、平成25年度には「森づくり事業補助金」により薪ストーブを2台設置し、平成26年度中には「森林整備加速化・林業再生事業補助金」を利用し、薪ボイラーを導入予定。せどやま再生会議が集積した薪を燃料として安定的に活用。

- 3 町民意識の醸成**  
エネルギー問題への関心の醸成
  - ・ イベントの開催・PR活動の推進
  - ・ 地域通貨の利用促進



## 取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 木材の活用問題・公共施設の燃料費高騰

### 1 木の活用先

せどやま再生事業で集積された木材の活用先として、薪ストーブ用の薪・シイタケのほだ木の他には、チップの原料としての販売しかなく、その用途は限られていた。

### 2 燃料費高騰

芸北オークガーデンでは、温泉加温用ボイラーに重油を利用しているが、燃料費が高騰し続け、経営を圧迫していた。

## 創意工夫した点 ～ 木の活用先として公共施設へ設備整備

2つの問題を解決するため、芸北オークガーデンに薪ストーブを設置するとともに、ボイラーにも、燃料が薪のボイラーを選定。安定的な需要が見込まれるボイラーを木材の活用先とした。

## 取組の成果（効果）～ 木の消費地の確保、受け入れ拡大

### 1 薪ストーブ設置

芸北オークガーデンに薪ストーブを設置したことにより、薪の買い取りが進み、暖房にかかる燃料費も削減でき、薪ストーブが設置されていることがイメージUPにもつながった。

### 2 薪ボイラー用針葉樹の受け入れ開始

平成26年度の導入予定の薪ボイラーとして、広葉樹に加え針葉樹も利用できる機種を選定。せどやま再生事業でも、針葉樹の受け入れを開始、間伐材も受け入れることができるようになった。



## 今後の展開 ～ 事業効果の検証、広報・啓発活動の充実、継続

### 1 森林整備の推進

「森づくり事業」を活用して森林整備を行い、伐り倒された木をせどやま再生会議に持ち込むことにより、森林所有者の負担軽減を図るとともに、森林整備を個人で行うばかりでなく、地域ぐるみで行う方法を提案するなど、後継者育成に資する活動も継続していく。

町有林も含め、芸北地域の森林計画に基づき、森林整備を推進していく。

### 2 事業効果の検証

平成26年度中に、芸北オークガーデンに薪ボイラーを設置。今後、重油を薪に置き換えたことによる効果を検証し、公表していく。

### 3 広報活動

「薪を使った豊かな暮らし」の様々な取り組みにスポットを当て、幅広く広報していくことにより、芸北地域の方はもとより、地域外の方にもPRしていく。



## 他団体へのアドバイス ～ 情報交換や他部局との連携の促進

地元の人たちと幅広く情報交換することが大切と考える。(情報交換をしている中でいろいろなアイデアが生まれてくる。)

役場の中でも幅広く連携の場を設けるともっと広がりがあると思うが、支所からの提案であるため、連携が取れずにいた。事業展開を加速させるためには、他部局との連携が必要である。

クリーンエネルギーや豊富な森林資源の活用等、周辺からの関心度はかなり高いので、地域内にとどまらず、情報発信が大切であると考え。周りに認められることによっても、地元の方たちが自分たちの活動について誇りをより一層持てると考える。